

第27回 多職種連携研修会（専門職向け）の 開催結果について



＊概要＊

(1) 開催日時

2026年9月19日（土） 14：00～16：35

(2) 会場

町田市役所3階 3-2、3-3会議室

(3) 申込者

81名（当日出席：78名）

(4) テーマ

「知って・使って・つながる

～町プロ連携ツールの活用について～」

＊研修会内容＊

【講義】

●内容：

連携ツールを活用した更なる多職種連携を進めるため、

- 連携ツールの作成の経緯
- 連携ツールの利点
- 連携ツールの活用事例
- 連携ツールを活用するうえで必要なこと

等についての講義を通して、連携ツールに関する専門職の理解促進を図った。

また、連携ツールの中でも、より多くの専門職向けに、今後活用を促進していきたいツールを取り上げ、講義を行った。

＊研修会内容＊

【講義】

講義	講師
講義①：町プロポータルサイトについて	町田市グループホーム連絡会 罇 隼人 氏
講義②：町プロにおける多職種連携ツールについて	町田市高齢者支援センター 齋藤 美和子 氏
講義③：お薬手帳カバーについて	町田市高齢者支援課 町田市医師会 近藤 聡 氏
講義④：救急医療情報キットについて	町田市薬剤師会 橋本 登 氏
講義⑤：家トレ～お家でできるトレーニング～について	町田市薬剤師会 井上 俊 氏
	町田市リハビリテーション連絡会 中澤 幹夫 氏

＊研修会内容＊

【グループワーク（４０分間）】

●内容

講義後、グループに分かれ、連携ツールを今後より活用していくために、以下の内容を検討するグループワークを実施した。

- ・自身の職種、職場で連携ツールを活用することを想定すると、どのような活用方法が考えられるか
- ・連携ツールを専門職間で活用・浸透させていくための課題は何か
- ・課題を解決するためには、何が必要か

＊研修会内容＊

【グループワーク（４０分間）】

●検討結果①（抜粋）

	町プロポータルサイト	町プロオリジナルお薬手帳カバー
課題・意見	・存在は知っているが、資源として有効活用できていない ・スマートフォンから見づらい	・最近では薬局等にも置いておらず、存在を知らない人が多い ・多職種連携ツールであるという、市販のお薬手帳との差を知らなかった
解決策	・マップを使いこなすためのセミナーや研修会を開催する ・スマートフォンでも使いやすくする	・配布数を増やして認知度を上げる ・お薬手帳を持っていると、割引やポイント加算がなされる等の特典をつける

＊研修会内容＊

【グループワーク（40分間）】

●検討結果②（抜粋）

	救急医療情報キット
課題・意見	・薬や健康診断の結果を入れておくとう有用 ・患者や利用者の冷蔵庫を開ける行為はハードルが高いため、更新が滞る要因の一つとなっている
解決策	・毎年、救急の日（9/9）に合わせて更新を呼び掛ける ・デイサービスのレクリエーションで作成する等、活用していくことで冷蔵庫を開ける行為への抵抗が減っていくのでは

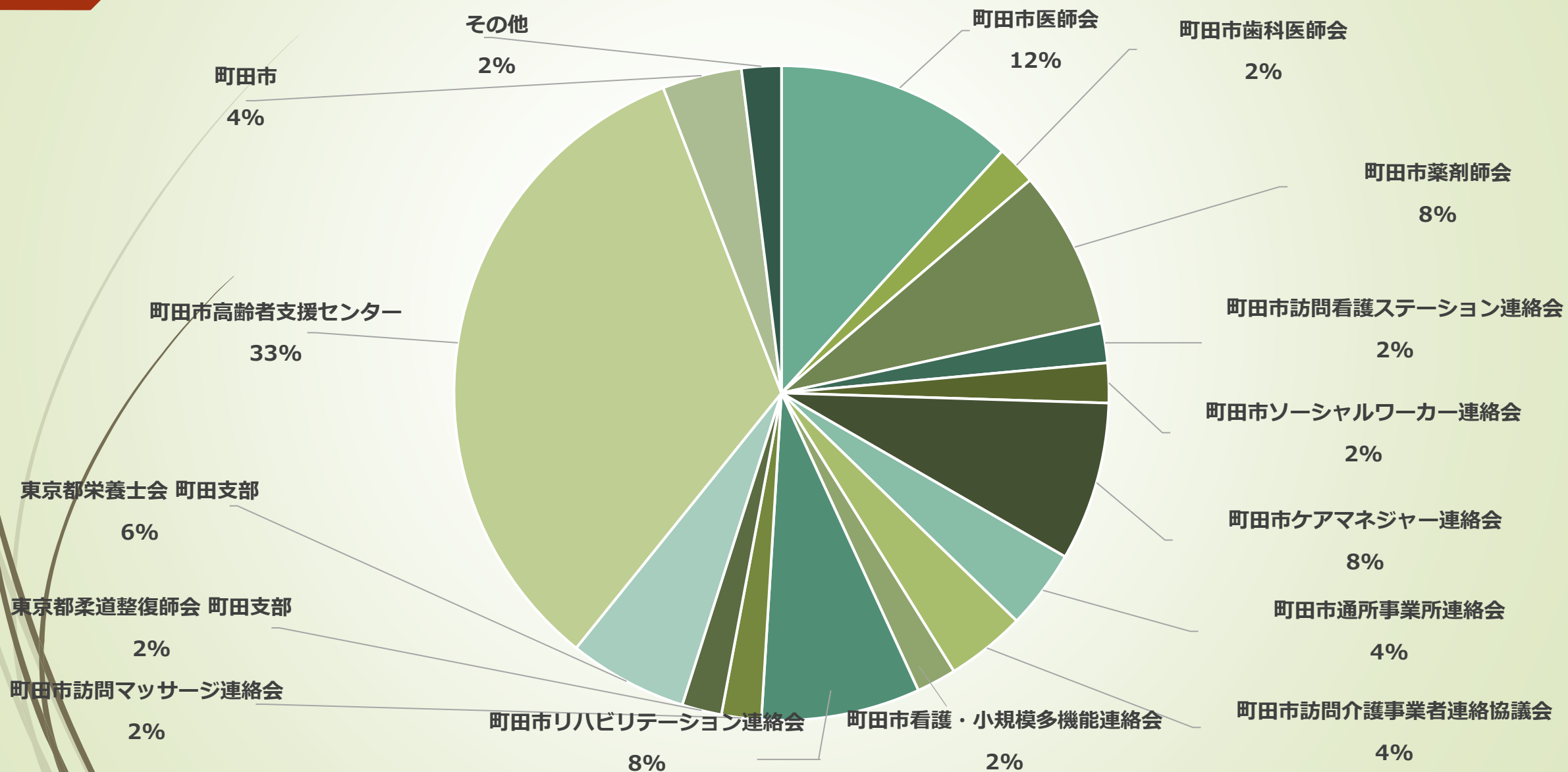


＊当日参加者アンケート集計結果＊

回答51件

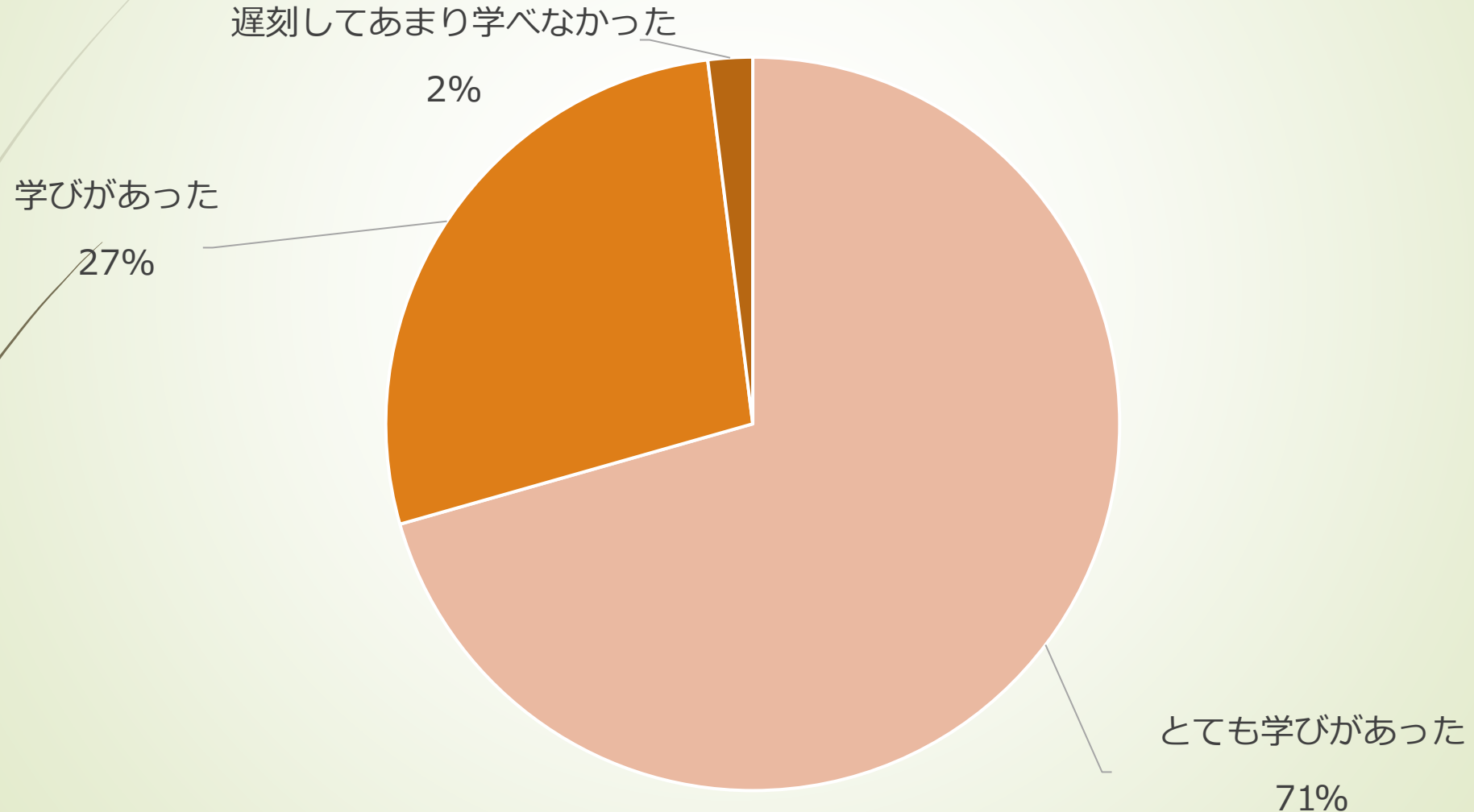
* 参加者アンケート集計結果 *

所属



* 参加者アンケート集計結果 *

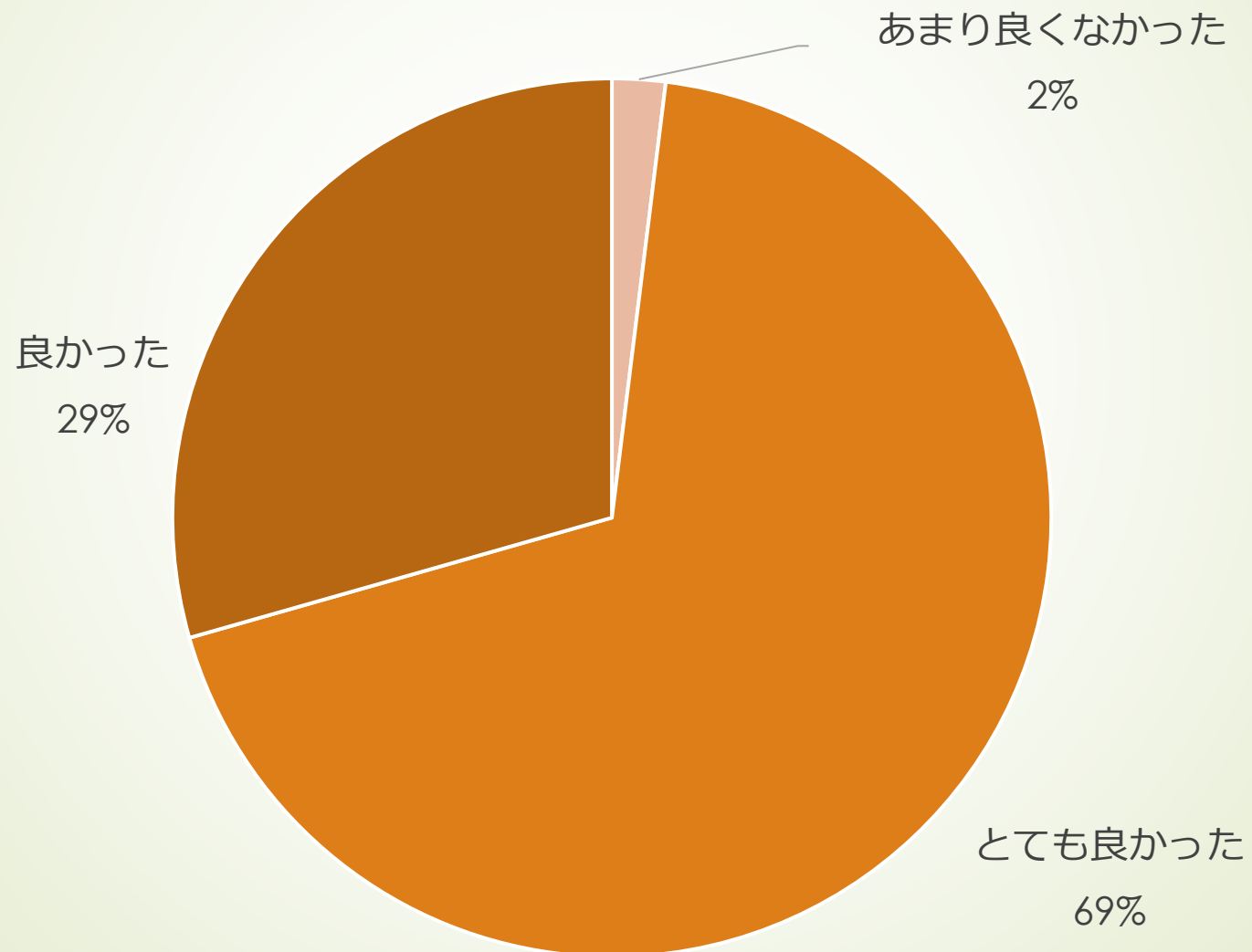
研修会全体について



* 参加者アンケート集計結果 *

11

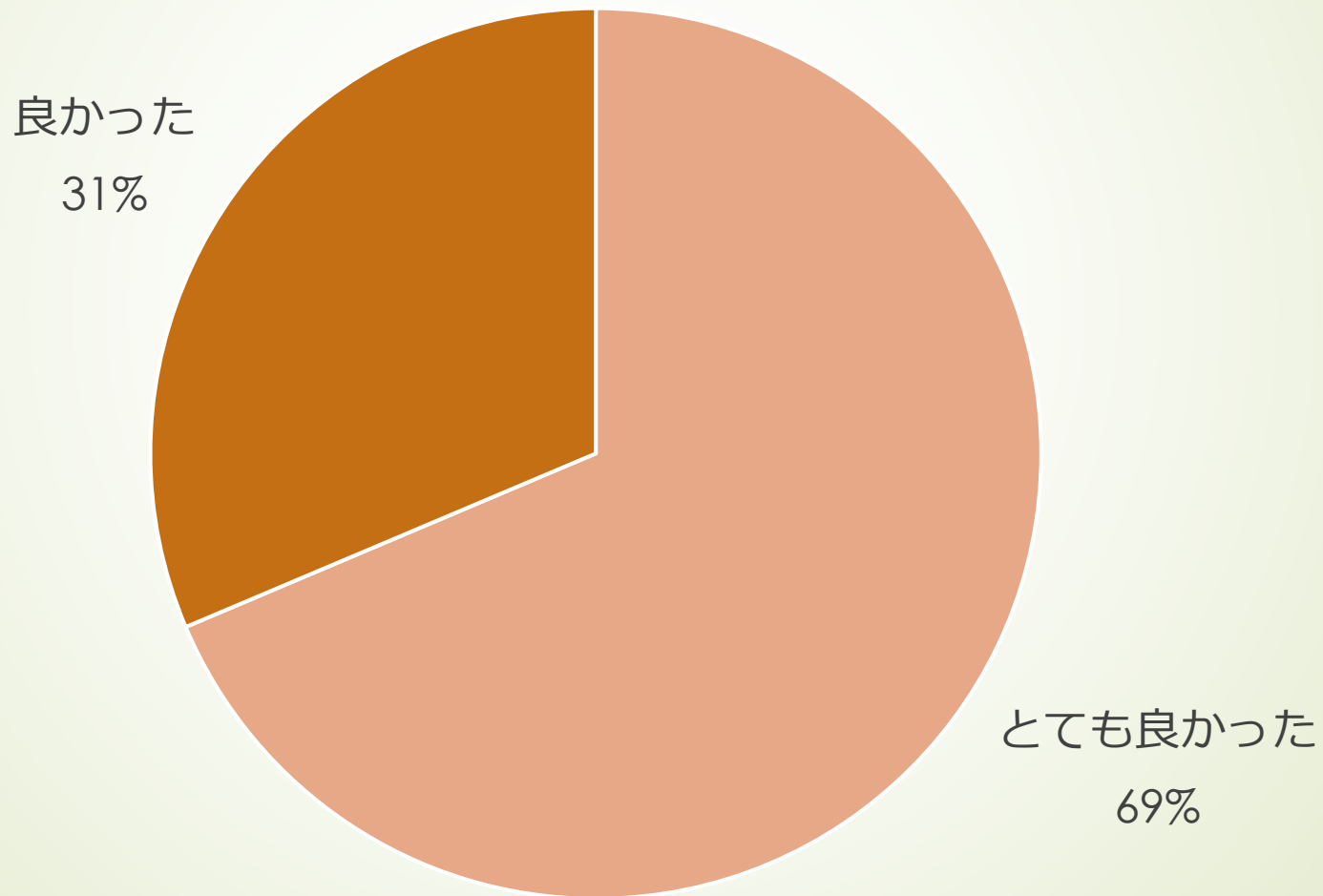
講演について



＊参加者アンケート集計結果＊

12

グループワークについて

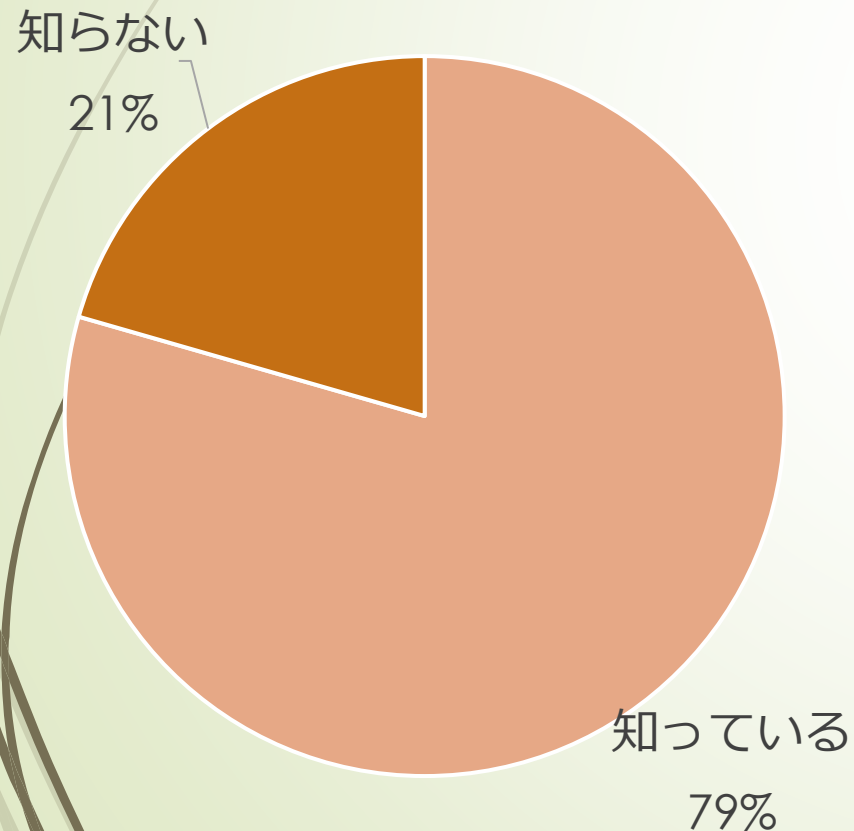


* 参加者アンケート集計結果 *

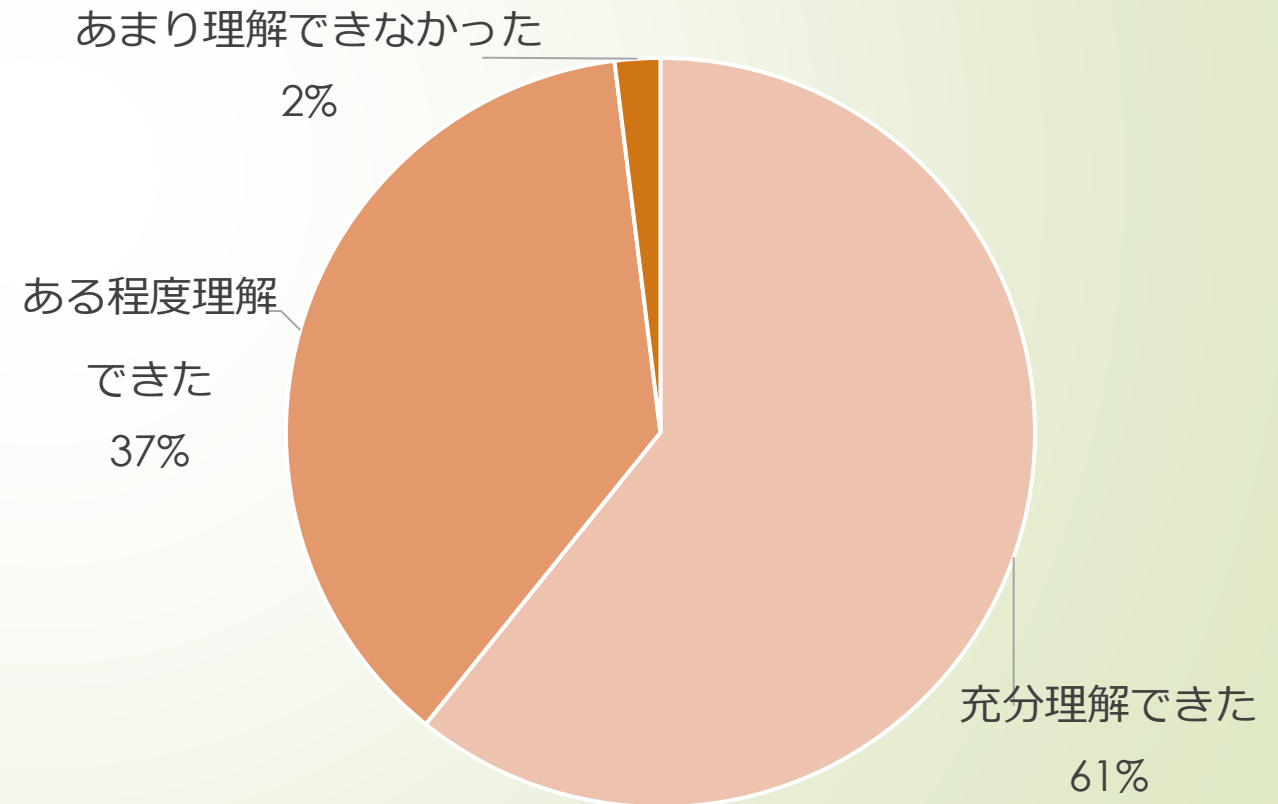
13

連携ツールについての認知度・理解度

【研修前】 連携ツールや使い方について
知っていますか？



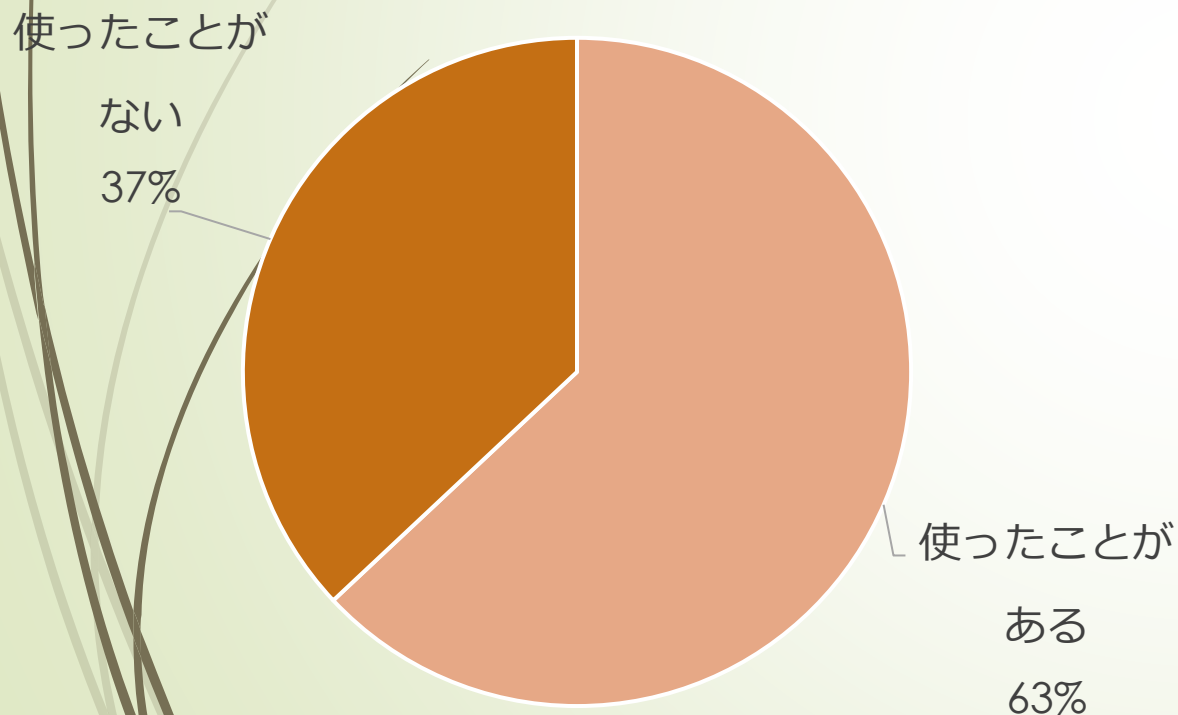
【研修後】 連携ツールの役割や活用方法について
理解できましたか？



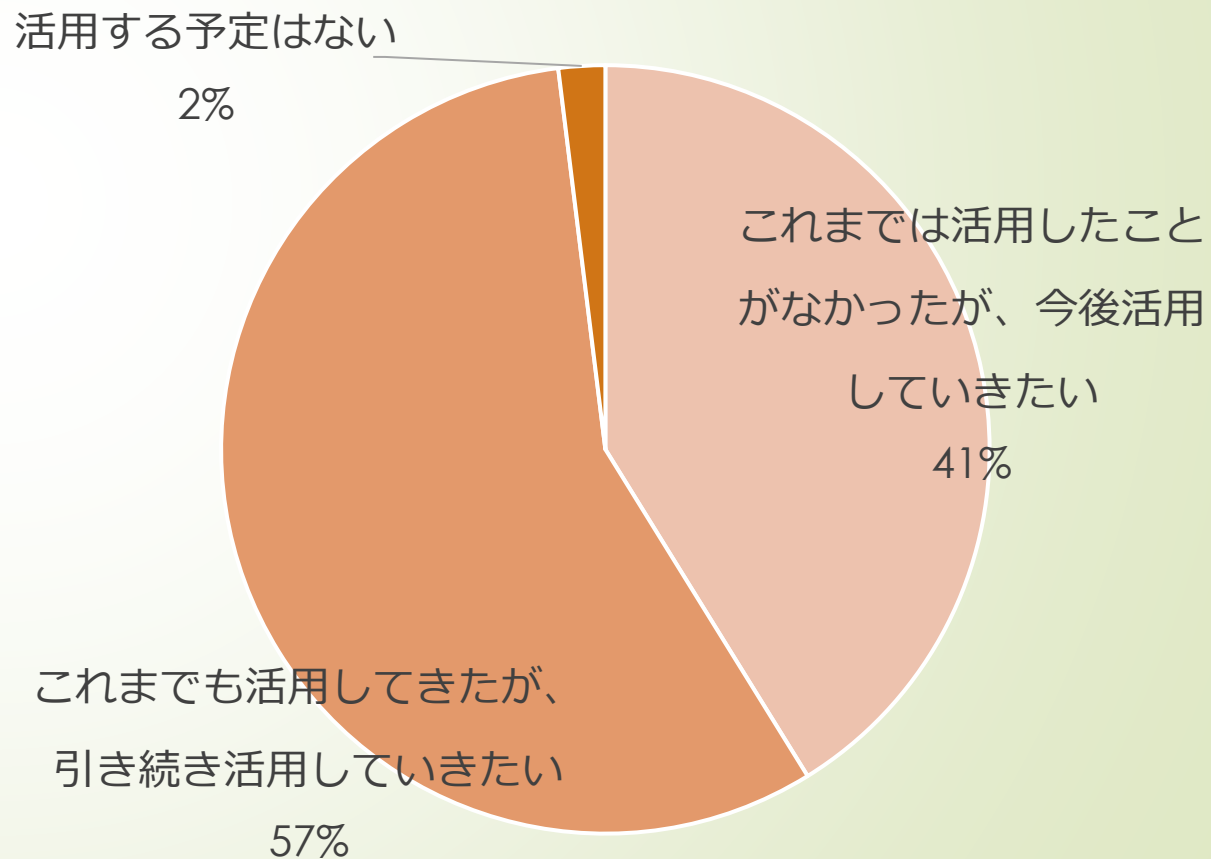
* 参加者アンケート集計結果 *

連携ツールの活用について

【研修前】 連携ツールを使ったことがありますか？



【研修後】 今後、自身の業務の中で連携ツールを活用していきたいと考えますか？



＊参加者アンケート集計結果＊

15

研修会で得られたこと、良かった点

- 使用方法を含めて、知らなかったツールを知ることができた。
- 連携ツールの作られた背景から知ることによって、活用への意欲が湧いた。また、ツール同士が連携しているということが分かり、多職種連携の重要なツールであることがよく理解できた。
- 町田市では様々な取り組みをしていて、支援する側もされる側も安心感が高いと感じた。ただ、それぞれのツールをしっかりと使いこなすことが必要だと思う。
- お薬手帳カバーの活用方法を意見交換できてよかった。再作成してほしい。
- 救急医療情報キットについて、グループワークでは多職種の方の意見と実際の医療職の事例を聞くことができ、参考になった。
- 参加者がそれぞれの職種の特徴を活かした意見交換が出来た。
- 医療と介護の多職種が、町プロを通じて同じ方向性を向けるよい協議体だと改めて感じた。

まとめ

<アンケート>

○連携ツールの役割や活用方法についての理解度

「充分理解できた」、「ある程度理解できた」の割合

：**98%**

○今後の連携ツールの活用について

(事前アンケート) 連携ツールを使ったことがある：**63%**

(事後アンケート)

「今後活用していきたい」、「引き続き活用していきたい」の割合

：**98%**

⇒連携ツールについて取り上げることで、ツールの認知度を上げ、活用を促進していくという研修会の開催目的は達成できた。

グループワークで出た意見やアンケート結果については、今後の取組みの方針の参考とする必要がある。